

とっとり しまね おかやま ひろしま やまぐち

中国・四国

コープCSネット

便り

生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報

とくしま かがわ えひめ こうち

第14号

発行
2008年1月11日
通巻14号

CO-OP 9生協の夢広がるネットワーク

新年、明けましておめでとうございます。

コープCSネットの本格的な連帯事業としての2年目がまもなく終了します。会員生協ごとの差異はありますが、大局では順調に事業連帯を進めることができました。関係の皆様方に感謝を申し上げます。

本年も関係各位のご指導ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



コープCSネット理事長 三橋幸夫

コープCSネット商品事業本部 ISO9001の認証を取得!!



2006年5月QMS構築セミナーの様子



2007年10月QMS第2段階審査の様子

コープCSネット商品事業本部は、ISO9001規格にもとづく品質マネジメントシステム(QMS)の構築を2006年5月から開始し、認証審査機関(日本検査キューエイ(株):JICQA)による2007年8月の第1段階審査と10月の第2段階審査を経て、11月22日、正式にISO9001の認証を取得しました。認証を受けた業務の範囲は、「生鮮食品、加工食品、非食品の商品開発及び供給業務」で、コープCSネットが供給するすべての商品分野が対象となっています。



CONTENTS

ページ

- ② 2008年 年頭の挨拶
- ③ 組員交流会報告+
コープCSネット虹の会海外研修レポート
- ④ 2007年11月22日 商品事業本部
- ⑤ ISO9001の認証を取得!
- ⑥ 各会員生協トピックス
- ⑦
- ⑧ 会議報告・私たちの生協です!



コープCSネット理事長 三橋幸夫

2008年を迎えるにあたり

新年、明けまして

おめでとーなげんごめす。

コープCSネットの本格的な連帯事業としての2年目がまもなく終了します。会員生協ごとの差異はありますが、大局では順調に事業連帯を進めることができました。関係の皆様方に感謝を申し上げます。

昨年は、1948年に制定された生協法が59年ぶりに大幅に改正され、社会における生協の役割が評価された1年となりました。コープCSネットにとっても、第1次中期計画の最終年として、また現在策定中の第2次中期計画を立案する上でも大切な年となりました。無店舗事業においては、初年度(2006年度)に頂いた意見をもとに、地域に適応したマーケティングを進めました。一方で、物流情報システムの統合といったインフラストラクチャーの整備にむけた討議を開始し、方向性を確認することができました。店舗事業においては、4生協でNB商品の共同調達をスタートさせ、値入率や利益率の向上など事業面での寄与が成果として現れてきています。コープCSネット全体を通しては、コープCSネット開発商品が300品を越え中国地区5生協の多くの組合員さんに支持を頂いていること、公式ホームページの開設や商品事業本部のISO9001認証取得など嬉しいニュースもありました。

事業面においては、2007年度の上期を終えた時点で、供給高(コープCSネット受注高)前年比100.5%と伸張しています。利用人数も前年比102.3%と前進基調にあり、組合員さんへの貢献を果たせているといえます。経常剰余も前年比102.4%と改善できています。しかし、会員生協段階では前年を下回っている生協もあり、経営入

の貢献という面ではまだ十分力を発揮しきれたとは言えない状況です。

2006年度全国生協組合員意識調査では、組合員の平均年齢が初めて50歳を超えました。子育てが終了した50歳以上のシニア世代の組合員は、1994年には全体の3割程度でしたが2006年には半数を超え、子育て層を上回りました。一方で、子育て世代の過半数の組合員が共働きという結果となっています。子育て支援や両立支援が大きな社会的テーマとなっています。このような変化は、全国一律に進行しているのではなく、地域ごとにまだら模様で変化し、地域間格差の拡大が生じています。各地域において重点となる課題は大きく異なっており、各地域の環境変化に即した競争戦略を打ち立てることがますます重要となっています。

中国四国エリアは、まだ個配利用人数比率が27%と低いこと、実利用高は全国平均を大きく下回っていることなどから、コープCSネットが大きな役割を果たせる余地がたくさんあります。また、4月には、改正生協法が施行されます。設立時に掲げた目的と目標を現実のものとしていくために、いよいよ真価が問われる年がやってきたと、新年に当たってひしひしと感じています。組合員のくらしと生協経営への貢献という目標をしっかりと見据えて適進して参ります。

本年も関係各位のご指導ご協力を

お願いいたします。



組合員 交流会 報告

コープCSネット組合員交流会は、「食品事業」「非食事業(日用雑貨・化粧品など)」に分かれて開催しています。

11月16日 岡山市にて「2007年 第6回 非食事業 組合員交流会」が開催されました。

非食事業の交流会では、10月の媒体紙面をもとに、紙面づくり、商品などについての交流を行いました。今回の商品モニターは、「COOPホワイトニングシリーズ」をはじめ、5種類の化粧品が選ばれました。次回の非食事業組合員交流会は、2008年1月11日 を予定しています。

12月6日 岡山市にて「2007年度 第2回 食品事業 組合員交流会」が開催されました。

食品事業の交流会では、クリスマス企画や12月5回企画などの媒体紙面について、節分、バレンタイン、お彼岸などについてを交流しました。組合員活動報告では、生協ひろしま、コープやまぐちの2生協の組合員さんより、商品普及の取り組みについて交流を行いました。次回の食品事業組合員交流会は、2008年3月21日 を予定しています。

第2回コープCSネット虹の会海外研修を終えて



コープCSネット 総合企画室
菊田 泰之

今回、コープCSネット虹の会西岡副会長(JA全農広島県本部本部長)に団長を務めていただき、コープCSネット虹の会の会員企業の皆様と、コープCSネット会員生協の役員の皆様で11月30日から12月4日の行程で、第2回海外研修先としてニュージーランド(以下NZと表記)北島にあるNZ第1の都市オークランドとその周辺の流通情報の視察を行いました。

NZは、全世界で狂牛病や鳥インフルエンザなどが発生する中で、検疫体制の強化に国を挙げて取り組む中でただの一度も発症がなく、その面で脚光を浴びているNZ牧畜の現状を視察することと、同国の流通業の事情を視察すること。そして、第1回の研修から大切にしてきた目的でもあるコープCSネット虹の会会員相互と事業連合やその会員生協の役職員の皆様との交流を深め、相互の信頼関係を高めることを目的に、この研修会は開催されました。虹の会会員37名、事業連合からは三橋理事長、会員生協から4名、事務局3名の合計45名の参加となりました。

第1の視察目的では、虹の会会員企業のニッシン・グルメビーフ(株)酒井社長のご尽力で事業連合でも企画している「やわらかミニサーロインステーキ」などの原料供給元アフコ社の3,200haの面積を7人で運営している契約農場にバスでの往復移動500kmをかけて訪問し、効率的で管理レベルの高い牧場経営を垣間見ることができました。第2の目的である流通業の事情視察では全世界で121のショッピングセンターを運営し、総資産58,000億円のウエストフィールド社が運営するオークランド市内のショッピングセンターなどを中心に視察しました。第3の目的である「相互の交流をはかる」については、オークランド周辺地域の人々の普通のくらしのあり様の視察やNZの食文化の確認などを行いました。

実質3泊5日でNZ国内移動距離1,500kmの弾丸ツアーで、海外特有のハブニングもありましたが、参加者の皆様のご理解とご協力をいただき全員元気に帰国できました。



ニュージーランドの放牧の見学



ISO9001 認証取得!!



コープCSネット
基幹会議運営・ISO担当
担当部長 中尾 泰和

認証取得までの経過

「コープCSネット」以下、「CSネット」は、事業の開始当初からISO9001の認証取得を方針化しており、06年6月の第1回通常総会で正式方針として確認されました。CSネットがISO9001国際規格にもとづく品質マネジメントシステム以下、「QMS」の早期導入をめざした理由は、大きく2点に集約されます。

第1に、CSネットが提供する製品（商品及びサービス）の品質保証に加えて、顧客満足（会員生協及びその組合員の満足）の向上を図るため、CSネットの業務プロセスを明確にし、その相互関係を把握して運営管理できる仕組みをいち早く確立する必要があったことです。この仕組みの確立のために、品質マネジメントマニュアルや各部門の業務規程、各種手順書や基準書などが策定・整備されました。



2006年5月QMS構築セミナーの様子

第2に、CSネットの職員組織が各会員生協からの出向者によって構成されていることによる仕事の仕方や文化の違い、また業績に対する価値観などをCSネットがめざす方向に統合する必要があったことです。このため、「必要とされる力量」の明確化や各部門での品質目標の設定が重要な意味を持っています。

QMSの構築作業は06年5月5日の「構築セミナー」をキックオフとして、品質管理責任者の真木常務のもと、部門責任者を中心に選出された食品商品部11名、非食商品部6名、事務局4名のQMS委員で開始されました。06年8月までの間、月2回のペースでQMS委員会を開き、構築をすすめましたが、8月時点での事業進捗状況の厳しさやCSネットとしてはじめて迎える12月商戦の成功の重要性に鑑み、CSネットの持ちえる能力や時間といった経営資源を12月商戦に集中投下するため、当初予定では12月としていた認証

審査の受審を07年10月頃に延期することとなりました。一方、その時点までに構築を完了していた商品事故対応や不適合製品は正処置、商品開発などのシステムについては運用を開始し、9月以降は月1回となったQMS委員会でこれらの運用状況をチェックしました。

07年1月から構築作業を再開し、品質方針の策定（1月）、品質目標の設定（2～3月）、必要とする力量の策定（3月）、購買管理規程の策定（3月）、定期教育の実施（4～5月）、取引先評価の実施（5～6月）、内部監査セミナー（6月）と内部監査の実施（7～8月）、経営層によるマネジメントレビュー（9月）、07年度の内部組織や機関会議の変更に伴う規程類の見直し・修正などを行うとともに、品質目標の進捗管理を毎月のQMS委員会で実施しました。

登録審査機関（日本検査キユーエィ株）：JICQAによる審査は8月29日に第1段階審査を迎え、指摘事項はゼロ。10月



2007年10月QMS第2段階審査の様子

9～11日の第2段階審査では測定機器に関して1件の「軽微な不適合」指摘を受けましたが、すぐに是正処置を実施し、登録審査機関に報告しました。審査を通じて審査機関から、QMS事務局を中心にマニュアル、規程、様式等の文書類はやや重いと感ずるほど充実しており、よく管理されていた。職員や派遣社員のインタビューでも品質方針や自部門の目標がよく理解され、全員参加の姿勢が感じられた」など、過分の評価を得ることができ、11月22日、正式に登録決定通知書を頂戴しました。

QMSの構築に関与された関係各位に心から感謝と労いを申し上げ、認証取得できたことを喜び合うとともに、今後ともQMSの継続的改善をすすめ、会員生協とその組合員の満足の向上をめざして、引き続き頑張りましよう。

ISO9001 認証取得で組合員の 暮らしに貢献できる



コープCSネット
常務理事(兼 品質管理責任者)
真木 貴正

コープCSネットで、ISO9001の認証を取得した意義を簡単にまとめました。2007年は、「食の安全」を脅かす食品偽装事件や中国製品問題などが相次ぎ、大きな社会問題となりました。こうした中で、コープCSネットでISO9001の認証を取得することは、組合員の期待に応えていく商品事業をすすめる上で、大変意義のあることです。その具体的な内容は、要約すると以下の3点であると考えています。

- 1 中国地区5生協の開発商品、産直商品も含め、コープCSネットとしての商品管理レベルの統一を実現しました**

コープCSネット開発商品は、「商品品質要件書」の締結による管理行為の明文化をはかり、それを検証するための工場点検を実施しています。産直商品についても、産直品の管理基準を明確にし、契約内容を具体化しました。また、その内容の検証のための産地点検を実施しています。
- 2 非食事業を活動範囲に加え、無店舗商品事業全般の統一管理を実現しました**

全国の生協の中でも、ISO9001を非食にまで範囲を拡大しているのは東海コープに続き2例目だと思います。これまで非食事業の品質管理のしきりは不十分なものでした。また、食品と比較すると業界自体の遅れた体質が壁となっています。内部での商品点検のしきりは確立しましたが、取引先の意識改革や業務改善が不可欠でした。このため、構築の中では、取引先への研修会も強化しました。
- 3 品質目標に顧客満足の見点から、「実利用高」の目標数値を掲げ、その実現のための具体策として、「主要重点中分類」のMD政策の確立とその進捗を管理することとしました**

漠然と実利用高という大きな数値を評価するだけでは何の問題解決にもなりません。そのポイントとなるマーケットボリュームが大きいカテゴリーのMD政策を確立することが先決と考えています。上期はまだ部門によっての成果にバラツキがあります。まだ数値の上がっていない部門も、段々と対策が具体化しつつあると評価しています。

非食品の品質管理 ～みんなで成果を～

ISO9001を認証取得していた有名企業でも偽装などの問題が発生しています。ISOの評価は「効果がある」という企業がある反面、「手間とコストだけがかかる」という企業もあります。このISOに対する評価の疑問は東海コープ訪問でふっさされました。東海コープさんの業務改善がすすみ数値も大きく改善している実態を拝見し、すばらしいと思いました。

「仕事が改善されて効果が生まれるものにしたい!!」

紆余曲折がありながら、やっとみんなでたどり着いた結論は、ISOは単なる手法で、よく切れる包丁のような道具だということです。ISOに過度な期待を持たず、全員がその包丁を使いこなすことが大事です。また、決まり事でルール化する部分と継続的に改善を促す風土の両方が必要です。

非食品は食品と特性が違うことがコープCSネット内部で理解され、非食独自の基準や手順が承認されたことで実践的になりました。また取引先様の協力が大きくすすんだことも功を奏し、クレームは削減傾向にあります。

「実践的なISOでよりよい非食品の提供がすすみ、結果、組合員の満足と業績が改善される」そんな喜びを分かちあえるようにしたいと思います。



非食品品質管理課
統括課長 光成 哲至

事例1：企画前の新商品点検を強化



クレーム前年比

94.2%

2007年10月末 現在

業務の流れがスムーズになり、効果に影響する重要ポイントがはっきりしました。

各会員生協トピックス!

各会員生協 年末の風景

年末年始は、流通業界にとって一年で最も活気付く時期です。中でも、年末は一年の年間供給予算達成にむけての最大の山場となってきます。中国四国の各会員生協でも、それぞれの特徴を活かした取り組みが行われました。各会員生協から届いた「年末の風景」を紹介します。

鳥取県生協

子供たちも大喜び！
東部のクリスマス会は盛り上がりました！



今年もサンタさんがやって来たよ～

毎年12月の子育てひろばは大人気!今年もクリスマス会やパルーンアートショーなど、盛りだくさんの内容で開催されました。東部のクリスマス会では、サンタクローズが登場すると子ども達は大喜びで、サンタさんに握手を求めに来る子もいました。賑やかだった子ども達ですが、何故かプレゼントを渡す時には、みんなお母さんのお膝に行儀良く戻っていきます(もしかして、「いい子にしていると、サンタさんがプレゼントくれないよ～」っていうお母さんの言葉が身についているのかな?)

「重曹セミナー」大好評!

年末の大掃除を前に開かれた重曹の学習会は、定員を超える数の募集があるほどの大人気!参加者からは、「使い方がわからず置いていた重曹がやっと使えます」「じっくり磨いていきます」「次回、買います!」などコメントをたくさんいただきました。



大好評だった重曹セミナー!

生協しまね



「【うまかぶり】の良さを発見!」は好評でした。

お腹も目も心も満たされ大満足! 迎春料理講習会

うまかぶり、塩数の子、有頭ブラックタイガーなど、利用組合員から「はなまる」印をいただく生協の迎春向け商品を使っての「迎春料理講習会」を全支所で開催しました。『必見!プロが教えるぶり丸ごと一匹のさばき方』『カンタン豪華にオードブル 華やかに盛り付けてちょっといいお正月を!!』など支所ごとで趣向を凝らした企画に参加申込が殺到しました。目からウロコの調理ポイントを教えあったり、各家庭のおせちや年末年始の過ごし方をおしゃべりしたり、盛りだくさんの豪華なメニューで大賑わいの講習会となりました。



講習会で、簡単!でも豪華なお正月料理ができました!

おかやまコープ

学んだことを力に、年末迎春もしっかりオススメ!

おかやまコープでは、職員・定時職員を対象にした「自主講座」という学習の機会が年間を通じて用意されています。業務時間外の開催で、名前の通りそれぞれが自主的に参加するものですが、明日からの業務にすぐに役立つ知識から、普段の自分の業務ではあまり関わりがないけど興味のあることなどを、おかやまコープ内外の専門家に指導・協力いただきながらしっかり学ぶことができると好評です。年末商戦目前の11月24日、この自主講座の企画として、共同購入の配達や仲間づくりに関わるメンバーを対象にした「基礎商品学習&試食」が開催され、約80名が参加しました。業者の皆さんや組合員活動の場で講師として活躍する組合員さんのご協力のもと、毎日の食卓に欠かせない開発商品や年末に向けてしっかりおすすめてほしい迎春関連商品について、おおいに学んだ参加者からは、「学んだことを力にしっかりおすすめて、組合員さんに喜んでもらいたい」などの感想が寄せられました。

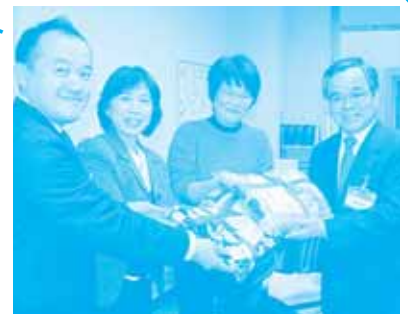


生産にたずさわる方々の情熱あふれるお話は迫力が違います!ご協力くださった業者の皆さんそして組合員さんありがとうございました。

生協ひろしま

一人暮らしの高齢者に、ひざ掛けをプレゼント

生協ひろしまからは、心温まるプレゼントのニュースです。昨年の12月3日、組合員の代表2名と職員1名が東広島市役所を訪れ、手づくりのひざ掛け65枚を贈呈しました。これは、一人暮らしのお年寄りの方に冬を温かく過ごしていただくこと、地域の組合員が声を掛け合って取り組んでいるものです。今年で22年目、累計929枚の贈呈となりました。毛糸の提供や縫う作業など、数多くの工程を要する制作には、地域の組合員の協力が欠かせません。「手のかかった分、1枚のひざ掛けには組合員の思いがいっぱい詰まっています」は、組合員からのコメント。また、今年は「あたたかくして、かぜをひかないように」という子どもたちのメッセージも添えられていて、同じ地域に住む人の温かさが伝わるプレゼントになりました。贈呈した組合員は、「これからも作り続けます。目標は1000枚です!」と市の担当者に伝えました。ひざ掛けは、民生委員を通じて届けられます。



東広島市の福祉担当者(右端)に、ひざ掛けを手渡す組合員の代表たち

コープやまぐさ

中心市街地活性化の期待を受け、地域とともにまちづくり

～ 山口・コープどうもん店オープン～

商店街の衰退が深刻化する中、山口市では国の補助事業の認定を受けた複合商業施設「どうもんパーク」が出来、12月12日、その1階部分に中心市街地活性化の期待を受けた「コープどうもん店」が、多くの市民・組合員に待ち望まれてオープンしました。「どうもんパーク」は商店街振興組合がアーケード街の西の核施設として建設したものです。コープの他、2階には春にNHK文化センター、医療施設、芝生公園も設けられ、古い町並みに合う洋風のレンガづくりは市民のいこいの場としてもにぎわいそうです。売り場面積は普通のくらしに十分対応できる約400坪と広くなり、地域柄多いお年寄り向けの少量パック商品なども含め、産直野菜などの生鮮品、コープ商品が充実しました。開店当日は4100人を超えるにぎわいで、オープン後4日間で約500人の組合員加入があり、期待に応える好調な滑り出しでスタートしました。



どうもんパーク屋上には、商店街の活性化と街の発展を願って、母子ぞうのモニュメントが飾られています。



とくしま生協

- とくしま生協子育て支援プロジェクト -

子育て中の方の悩みや相談、お母さんの息抜きになればと子育て支援プロジェクトがスタートしました。タイトルの【げんきっずくらぶ】という名称は、参加してくれているお母さんの中から生まれてきた言葉です。「子育てひろば」「げんきっずキッチン」は、赤ちゃんから未就園児までの親子が参加してくれています。時には、70人を超える支持の高い企画となっています。うたを歌ったり、親子体操、手遊び、読み聞かせ、料理教室などの楽しい取り組みやコープ北島敷地内に開設された健生きたじま小児科クリニックと一緒に「ベビーマッサージ」など医師の方も交えた講習会もすすめています。転勤などでお友達がなくて淋しい思いをしても「げんきっずくらぶ」に遊びにできれば、すぐにお母さん・子どももお友達ができるそんな場になればと毎月開催しています。さらに多くの方が気軽に参加してもらえる開かれた活動となるようすすめています。

げんきっずくらぶ



コープかがる

「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」に取り組みました

12月1日 と12日、コープかがわ16店舗で「子どもの未来は、栄養が握っている」をテーマに「ユニセフ ハンド・イン・ハンド」に取り組みました。当日は組合員、組合員の子どもたち、職員の他、店舗近隣の中学校の生徒さんたちの参加もいただき、来店される組合員のみなさんに呼びかけた結果、10万円を超える善意が寄せられました。

また、日本ユニセフ協会香川県支部が、12月9日には、コトデン瓦町駅で、ボーイスカウトのみなさんと、さらに16日にはコープ飯山やJR坂出駅等で、坂出付属中学の全校生186人のみなさんが、23日には、JR高松駅でガールスカウトのみなさんと「ハンド・イン・ハンド」の呼びかけを行いました。



「ハンド・イン・ハンド」に
ご協力お願いしまーす!!

コープえひめ

コープえひめの くらしづくり活動の紹介

毎年恒例のユニセフハンドインハンド募金を行いました。コープえひめの店頭で行います。募金していただいた組合員さんに、クリスマスツリーにリボンをつけていただきます。最初は緑色のツリーですが、たくさんの組合員さんに募金していただき、華やかに飾られていく様子は本当に温かい気持ちにさせてくれます。今年は、12月25日までに11会場で51,463円の募金をいただきました。



こうち生協

迎春試食会

県下7支所の商品活動委員会が中心になり年末年始商品の展示試食を行う迎春試食会。こうち生協東支所が11月29日 11:00～13:00に開催した様子をご紹介します。参加は約30人。試食商品は 無漂白数の子・ちゃんこ鍋・もつ鍋・ローストビーフ・伝統おせち4品セット・丹波黒豆・かまぼこ・大丸・味付高野・千枚漬・酢かぶ・ワインゼリー・大山乳業クリスマスケーキ等…。参加者からは「毎年おせち商品は買ったことなかったのですが、こういう機会に試食させていただきよかったです」「塩ちゃんこがすごく美味しかったです」「おせちはいつも同じようなものになるので、少し変わったものがないかなと思います。たとえば和菓子とか…。黒豆はとても美味しかったです。自分で炊いてもこの味は出ません」「会場の雰囲気さびしい感じ。大変でしょうけどキラキラの飾りつけや音楽でパーティー風にしては…」などの声をいただきました。



迎春展示会 試食風景
(商品活動委員会担当理事・副支所長も写っています。)



好評!おせち4品セット



子どもにも人気! 黒豆・数の子

会 議 報 告

2007年度 第2回 理事会

2007年12月21日(金) 11:00～14:00 日生協中四国地連会議室(岡山市)

<報告・専決事項>

1. 商品事業本部関連

11月実績まとめ 12月実績進捗報告
 非食チラシ掲載料の見直しについて
 日生協保留添加物基準の見直しに伴う対応について
 商品情報検索機能の強化について
 インターネット事業研究会の設置について

2. 事業支援本部・総合企画室関連

幹部人事の異動に関する件 組合員理事懇談会 11/16開催
 日生協NB共同仕入れへの参加について 事業改革小委員会報告 第8回～第13回
 無店舗事業会議報告 第7回、第8回、第9回 商品連帯推進会議報告 第7回、第8回
 店舗事業会議報告 第3回、その他 監査報告書

<議決確認事項>

1. 流通適化協議に関する中間まとめ

2. 情報システム最適化PJ 最終報告

<協議確認事項>

1. 08年度事業計画について 2. 第2次中期計画 中間まとめ第18版

3. OCRシステムの共同化について最終提案 4. 改正生協法への対応の方向性について

<業務報告事項> 事業支援本部・総合企画室

1. コープCSネット11月決算

2. コープCSネット07年度損益見込み

3. 組合員要望11月まとめ

2007年度 会員生協への供給高 供給剰余金

2007年4月～11月

単位:千円

	実績	計画	計画差	計画比
会員生協への供給高	48,196,686	48,991,148	-794,462	98.38%
鳥取県生協	2,694,663	2,869,254	-174,591	93.9%
生協しまね	3,541,469	3,719,307	-177,838	95.2%
おかやまコープ	13,355,691	13,449,363	-93,672	99.3%
生協ひろしま	15,610,724	15,638,334	-27,610	99.8%
コープやまぐち	6,096,025	6,385,400	-289,375	95.5%
とくしま生協	1,179,078	1,219,475	-40,397	96.7%
コープかがわ	1,622,782	1,795,600	-172,818	90.4%
コープえひめ	2,747,903	2,522,468	225,435	108.9%
こうち生協	1,348,351	1,391,947	-43,596	96.9%
事業剰余金	355,062	179,236	175,826	198.1%
経常剰余金	417,069	217,836	199,233	191.5%

私たちの生協です!

「このコーナーでは、中国四国9生協の広報担当の方に順番に登場していただき、それぞれの生協のニュースや自慢、会員生協独自の商品や名物など、個性豊かに紹介してもらいます! 第14回目は、コープやまぐち 組合員活動部内のHP管理人の山子さんにご紹介いただきます!」

組合員による「行政との懇談会」は12年間継続して取り組んでいます

「行政との懇談会」とは、コープやまぐちで12年前から取り組みはじめた活動で、昨年の秋の開催で13回を数えます。この懇談会は、住民の関心事や暮らしをよくするためのテーマ(各地域でテーマ設定)で、その市町のトップ(市長・町長と生協組合員(住民))が話し合おうという場です。もちろん、首長のご都合が合わず副市長や担当部署責任者の場合もありましたが、今までの開催は200会場を越し、その約8割がたは首長の出席がいただけ、組合員と和やかかつ有意義な話し合いができています。めざすは、行政との協同活動やお互いの理解をすすめるから、住民の声を反映させた住み良いまちづくりに貢献できること。今までの懇談会の継続によって、環境問題や消費者問題、平和活動などの協同活動もすすめられ、消費者運動をすすめる私たち生協活動への理解にもつながっています。

組合員参加は理事などリーダーだけでなく地域のコープ委員さんらが参加されることもあり、「市長の思いを直接聞いて今まで距離を感じていた行政の取り組みがより身近なものになった」「自分たち市民も行政や地域にもっと目を向ける必要を感じた」などの声も聞こえています。

2008年度もさらに有意義な懇談会をめざしていきます。



かなり緊張もしますが…和やかに…そして、
 ちょっとかしこまって記念撮影



次回は、
 とくしま生協さんの登場です!
 渦潮よりも、なぜか鳴門金時に
 惹かれます。
 どんな話題がでるのが、
 楽しみ楽しみ(^^)

新年あけましておめでとうございます。

2008年はじめてのコープCSネット便りは、「コープCSネット商品事業本部 ISO9001の認証を取得!!」や「会員生協 年末の風景」などを中心に掲載させて頂きました。

昨年は、食品に関する様々な問題が起こりました。年末に発表された昨年を象徴する漢字が「偽」であったことも印象的でした。多くの組合員さんから「安心」「安全」「品質」を求める声を頂き、今の仕事の中で、組合員さんへ「安心」「安全」「品質」をお伝えするために、何ができるのかを暗中模索した一年でした。

今年は、広報を通じて組合員さんの日々の暮らしに貢献できる「生協人」でありたいものです。今年もよろしくお願いたします。

<編集責任者> コープCSネット総合企画室 担当 長谷川 直子

編集
 後記